

第4回新居浜市総合文化施設建設委員会(全体会) 会議録

1. 日時	平成 24 年 4 月 19 日 (木) 10 : 30～12 : 10
2. 場所	新居浜市市民文化センター別館 1F 第 6 中会議室
3. 出席者	<p>委員</p> <p>美術館 松久勝利 (委員長) 宇野貴美恵 合田定子 篠原雅士</p> <p>小劇場 山本光博 (副委員長) 石川猛 伊藤公一 田邊憲司</p> <p>あかがね文化 坂上公三 (副委員長) 安孫子尚正 伊藤嘉秀 井上和志 武田信之 直野由美子 渡邊哲郎</p> <p>総合文化施設準備室室長 赤尾恭平 " 副室長 菅春二 " 副室長 曾我部みさ " 係長 藤田英友 " 池田淳子 " 山田慶治 (兼務) スポーツ文化課係長 沢田友子 " 都市計画課主事 山内貴志 建築住宅課第一係長 桑山善樹 (株)トータルメディア開発研究所 長谷川辰也 姉川泰久 横田喜勉</p>
4. 欠席者	藤田優 好井和樹
事務局	～開会挨拶～
事務局	<p>総合文化施設の建設に向けましては、昨年 11 月に開催いたしました第 3 回建設委員会で最終的な基本設計案をお示しさせていただいた以降、各種団体との説明会や 1 月には市民説明会を行いまして施設内容等の周知、またご意見等もいただいております。また、建設予算につきましては、様々なご心配をいただいておりますが今年度の当初予算で提案いたしまして、3 月議会ではご議論もございましたけれども、施設用地費の 17 億円余りと施設建設費といたしまして当初予算編成時期に確定しております 39 億円の 2 カ年の継続費を市議会の方で可決をいただきました。現在実施設計中で</p>

	<p>ございまして、実施設計の作業中で全体事業費といたしましては、これまでご説明してきましたように 63 億 5 千万円を見込んでおりますので、今後事業費の精査を行いながら、今後の議会におきまして残りの建設費につきまして継続費の補正をしたいと考えております。これまで委員の皆様のご協力によりまして現在の基本設計案をまとめることができっておりますが、今後におきましても施設運営のソフト面でもご意見等をいただきながら建設を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願い申しあげまして開催のごあいさつとさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、これからの進行は松久委員長にお願いしたいと思えます。よろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>おはようございます。</p> <p>第 4 回ということで、全体会では 4 回目ですが分科会も含めまして大変多くの会を開催いたしておきまして、お忙しい中足を運んでいただきましてありがとうございます。</p> <p>先ほどの田中部長のお話を聞きますと、3 月の議会で予算について可決になったということで、この建設委員会の役割としてはかなり果たせたのかと感じています。今後は実施設計という段階に入っておりますので、建設委員会としては、スケジュール等と照らし合わせながら、実施設計の節々でご意見をいただく作業が残るかと考えています。</p> <p>それでは、本日の議事に入っていきたいと思えます。最初の議題の現状報告についてですが事務局の方からご説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">《現況報告》</p>
事務局	<p>着工については、現在、実施設計の終盤を向かえ、ほとんど施設としては固まってきていますが、設計金額に関連した構造体の検討、設計図の見直しをしながら金額の算出を日建設計でしていただいております。この作業が固まりましたら 7 月中に工事の事業者の選定に入ります。これは一般競争入札という形になると思えますので、広告をいたしまして 8 月に入札という運びになります。それを経て 9 月議会で工事のご承認をいただきまして 10 月から着工とい</p>

う流れになろうかと思えます。

工事につきましては、建築工事が平成 24 年 10 月から着手をして平成 25 年 12 月いっぱいを目途に完成を目指そうと考えています。その後展示物等の工事が約 3 カ月かかるかと思っていて、館としては 26 年の当初から開館ができるという想定ではございますが、美術館部門につきましては建設後に乾燥期間を経て室内の環境測定しながら文化庁とご協議をして、いつから使えるのかという運びになると思えます。美術館については、夏を目途になってくるかと思えますので、オープンの方といたしましてはプレーオープン・グランドオープンという形になるかと思えます。複合施設でございますので全館あげてのオープンが望ましいのかもしれませんが、今後建設委員会でもご議論していただきながら定めていこうかと考えています。

以上のことから、今後の建設委員会の進め方といたしましては、先ほど委員長からもお話がありましたが、分科会を開催しながら運営・施設細部について進めていきたいと考えています。そして、全体会議といたしましては、建物の着手のおり等にタイミングを見ながら開催をさせていただきたいと思えます。

《資料説明》

それでは、実施設計案について資料を見ながらご説明をさせていただきたいと思えます。

まず 1 ページ目ですが、地階にあたる設計図になります。小劇場・スタジオ等がある階になります。ここについては打合せとおりに進めさせていただいております。多少使い勝手を考えて、楽屋 2・楽屋 3 を可動間仕切りにすることで広い空間のスタジオとしても使えるようにしたり、1 番下の収蔵庫の隣に物入 3 を収蔵設備としての強化の意味で設置していたり細かな部分で変更しています。

次の 2 ページですが、地下の中 1 階の交流サロンになります。ここについてはホールに至るホワイエの吹き抜けの形態を設計の中で考えながら最終的にこの形に落ち着きました。この階につきましても大きな変更点はございません。

次に 3 ページですが、市民の皆様の玄関口となるメインのフロアになります。ここにつきましても当初の予定通りシアター・太鼓の展示等の計画は変わっていませんが、アート工房・シアター周りの

	<p>展示については後ほどトータルメディアさんの方から詳しいご説明をさせていただけたらと思います。</p> <p>次に4ページですが、美術館の展示室になっています。ここにつきましても今までの打合せの中で計画していったものを少し形としてシェイプアップした形態でございます。展示室面積につきましても大きく当初の想定通り変更はございません。ただ今後の展示壁面のモジュール（間隔）につきまして3.6を目標に動いておりますが、これが構造体の柱割でございまして多少変更になってくることはございます。</p> <p>次の5ページでは、屋上の機会室の平面図になっています。特に変わった点はございません。</p> <p>次の6ページですが、立面図をお付けしております。全体の形といたしましても、プロポーザルでお示したものと大きく変更はございませんが全体が丸い形からシェイプアップしたようになってございます。</p> <p>次の7ページが断面図になりますが、大きな特徴は真ん中の吹き抜けの屋根を両側から吊り下げのような形で構造体としては計画しております。これが大きな特徴になるかと思いますが、吹き抜け部分に柱を作りたくない意図から工夫した設計になっています。</p> <p>最後のページですが、建物のCG写真になります。もともとの形より少し丸さがとれてきたと思いますが大きな変更点はございません。これにつきましては、日建設計のデザインにお任せしたいと考えています。</p> <p>それでは、現状報告のご説明を終わらせていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局からのご説明でございました。委員の皆様からご意見・ご質問があればよろしくお願ひします。</p> <p><質問なし></p> <p>ご意見がないということなので、議題2の収集・評価委員会の報告についてのご説明に移りたいと思います。</p> <p>事務局の方からご説明よろしくお願ひします。</p>
委員長	
全委員	
委員長	

<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">《資料説明》</p> <p>それでは総合文化施設収集・評価委員会についてご報告させていただきます。「議題 2 資料」をご覧ください。</p> <p>まず、総合文化施設の中心機能の一つである美術館についてですが、これまでの美術館の内容等についてのご審議・ご提案に基づき、美術館には大変専門的な要素がありますので専門家の意見を伺う場として、昨年度、新居浜市総合文化施設収集・評価委員会を設置し、今後美術館で収集していく美術品に関する事、もう 1 点は寺坂記念室をどのように運営していけば良いのかということに関して専門家の皆様と検討してまいりました。</p> <p>経過でございますが、これまで 2 回の会議を開催しました。第 1 回目につきましては昨年の 8 月 30 日に過去の市民提言等を含めて新居浜市の美術館の考え方等についてご説明を申しあげました。その後、先生方とも具体的な進め方等のご協議をさせていただきながら今年の 2 月 21 日に第 2 回ということで、まず施設の美術館の配置でありますとか規模、構造、展示室面積等のご説明を申しあげまして私どもの方で考えてございます美術館の進め方がこの施設で可能かという検証をしていただきました。内容等につきましては、文化庁・東京文化財研究所といった専門機関の方に検討していただきながら進めていくという方針をご確認させていただきました。また、美術館の活動方針ということでございますが、私どもの方で設定しております「地域に根差した新居浜にゆかり深いものということ」、「20 年・30 年後に日本の芸術史の一翼を担うことができるような活動」ということ、「子供の豊かなところを育むような活動」の 3 つの活動方針についてご確認いただきました。</p> <p>もう 1 点は、寺坂記念室を今後どういう風に進めていくかという点につきましてご審議をいただきまして、寺坂先生の日展のネットワーク等をこの施設でも生かしていただくような活動をしていけばどうか。又そういったことで今後地域の方との創作活動の拠点、または子供さんの豊かなところを育むような活動をしていけばどうかということでご方針のご確認をいただいたところでございます。今後におきましては、より具体的な事業展開といったことに関してご審議をいただきながら、専門家の皆様にご指導をいただくというようなことで作業を進めていきたいと考えてございます。今後におきましてもこういった建設委員会といったところでも適宜ご</p>
------------	---

<p>委員長</p>	<p>説明を申しあげながら委員の皆様方のご意見も賜ってまいりたいと存じます。</p> <p>以上で簡単ではございますが収集・評価委員会並びに美術館の活動方針等に関わる件につきましてご報告をさせていただきました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>収集・評価委員会というのは、作品の収集だけではなくて美術館の部分的な運営方針、柱になることについての専門家の立場からご意見をいただく場というもので、その中で多少議論の中で公開しない方がよいという部分的に発言があったりするので、会議を非公開にさせていただいております。従って、ここにお集まりの皆様にとっては今の話は初めてお聞きになったと思いますが、話の中身といたしましては建設委員会や分科会、市民説明会の開催等の内容をご説明してご議論していただいたり工夫の助言をいただいたりして、これからもご協力を惜しまない等のことも言っていたりしたので、そういった中で、寺坂先生の記念室に関することで盛んな意見交換があり、結論として寺坂先生の個人的な顕彰というのは事実上あるのですが、それをメインとするのではなく、むしろ新居浜市のこれからの美術活動、文化活動をつくりあげていく上で可能な限り寺坂先生のご協力をお願いして、寺坂先生は講演会でもお話をしておりましたが子供の教育に大変熱意をもっているらしいです。それから様々な芸術家とのご交流がありますので、そういったネットワークを十分生かしながら今後の10年後、20年後の美術館の活動を指導していただく役割をお願いして、寺坂記念室の位置付けになれば非常に良いものになると太鼓判をいただきました。そういったことで1月の市民説明会でも様々な意見がありましたけれど、事務局の方からご説明があったような方向で先生方は今後ともご協力いただけるご発言もいただいております。</p> <p>補足説明を少ししたいと思いますが、第3回収集・評価委員会が7月から8月に開催されますが、その中で具体的な話がでてくると思いますが今の時点ではまだ早いかもしれませんが、第1回の開館記念の展覧会をどうするのかということでこれからの美術館のイメージが全国に発信されるので、そこに向けてはかなり早い段階から準備されるのがよいというご助言もいただいております。これで収集・評価委員会のご報告は以上でございますが、いきなりのご</p>
------------	---

	<p>説明で申し訳ないのですがご意見・ご質問等あればよろしくお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>多くの人に興味・関心を持ってもらって集まっていただくために、新居浜がどういう発展をしてきたかということを考えると、別子銅山から始まり、工業で発展したということで、銅の公募展などをして銅の作品を展示したりすることも考えていただけないでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>これは、今後の運営・企画に関わるご意見だと思います。収集・評価委員会というのは館の運営の大きな柱の議論をする場でございますので、ご意見にありました企画に関しては、市民も交えて活動の展開についての委員会を設けていく必要があると思います。様々な選択肢を美術館や総合文化施設で再現できる余地があると思いますので、そういった場で今の意見のようなことを活発に出していただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>以前より市民の皆様から新居浜は銅や祭だというご提案をいただいておりますが、美術館としての大きな方針を立てて筋道を通した上で検討するというところで作業を進めています。具体的に銅の公募展というお話がありましたが、駅前の方で駅前まちづくりというものも進めておりまして、新居浜らしいモニュメントを置くことも市全体として考えています。美術館だけではなく、今回文化施設ができる周辺のまちづくりの中で新居浜らしいテーマも当然検討に入れながら様々な事業を私どもでも展開していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>開館記念展のことですが、具体的にこんなのが良いのではないかというお話はできていますか。</p>

委員長	<p>まだでていません。現在は「開館記念展の計画を綿密に立てないといけない」というご意見がでています。具体的な内容については収集・評価委員会の委員は専門家ですのでこうなさいということは言わないと思います。</p>
委員	<p>各分科会と収集・評価委員会のバランスの件ですが、大きな柱と細かい根を張った新居浜の活動をしている方との話し合う機会が大事で、私も今回このような会があるのを知ったのですが、そういった美術専門の方々や文化的な活動をしている方々も話し合う機会があっても良いのかなと思いました。</p>
事務局	<p>現在は具体的な活動方針として定まったものがない状態ですが、今後実際の活動の中で新居浜文化と美術館の関わりというのは当然起こってくると思います。</p> <p>収集・評価委員会では、美術館の大きな運営方針を定めていただいておりまして、公立の美術館としてご意見番みたいなどころとして全国的におかしくない活動をしているというお墨付きをいただくような会がございますので、その中で総合文化施設ということで美術館を中心に演劇や音楽、新居浜文化というところに関わっていかうとするものなので当然すり合わせが起こってくるものと考えています。また、そういうことがありましたらお声掛けをいただいて、私どもの方で計画をさせていただければと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>収集・評価委員会というのは、美術館施設には必要な組織で、どこの美術館にもある組織です。例えばこういった館ができますと作品の寄贈の申し出があることがあります。収集することが適当かどうか、評価をしなくてはなりません。そのために美術館の方針を定めて作品の選定にあたることにもなりますので非常に難しい問題です。そういったこともふまえて美術館を開設してからも起こりうる事柄にどういうふうに対応していくのか等のことまで睨んだ方針づくりが必要だろうという議論をしています。</p> <p>3部門ありますのでこの3部門をどう上手く組み合わせていくか</p>

	<p>というプロデューサー的役割も館として必要だと思いますので、その中で様々な専門家との話し合いの場も必要かと思います。ですから、今のようなことは当然この委員会のメンバーとしてもご承知おきいただいて、もし気になるようでしたら活発なご指摘いただけたら嬉しいかと思います。</p> <p>他に何かございますか。</p> <p>ないようなので、議題3の「にいはま文化・アート工房・スケジュールについて」に移りたいと思います。</p> <p>トータルメディアよりご説明よろしく申し上げます。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>《資料説明》</p>
<p>委員長</p>	<p>にいはま文化の展示・配置図についてのご説明をしていただきました。トータルメディアからのご説明はまだありますが、話の流れの中で1回区切りしましたのでご意見・ご質問をいただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料の2ページの各地区太鼓台の自慢というのは展示する太鼓台によってこのディスプレイも変わっていくのですか。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>はい。そうです。</p>
<p>委員</p>	<p>それと、資料の4ページのにいはまマンダラのアート展示と学習展示のところですが、アート展示として展示できるラックは何カ所ありますか。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>資料の平面図でご説明しますが、平面図と同じで6・7カ所を計画していますが、数は決定したわけではございません。学習展示のボリュームとバランスを見ながら調整していきたいと考えています。</p>

委員	<p>太鼓台シアターのことですが、太鼓台のかきくらべ等の映像が流されているのですか。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>どちらかと言うと、太鼓祭りを体感していただくというコンセプトのもと、360度の中にかきくらべだけではなく様々な映像を流そうと考えています。</p>
委員	<p>次々に意見が続いて申し訳ありませんが、資料の2ページの左側の映像ですがスクリーンが横幅1100でスクリーンにしては大きくないと思いますが、太鼓シアターの映像があるのならスクリーンではなく新居浜太鼓祭りに良く似た祭りが四国や中四国に分布されているので、そういった外からきた人にも親しみが沸くような展示が必要かと感じました。それともう1つは、資料の3ページのこどもライブラリーの展示位置が子供には高いと感じたので600の高さを下げて子供が手の届く水平で小さい子供でも見えるような高さの方が良いのではないかと思いました。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>ありがとうございました。</p> <p>中心の映像部分について太鼓台シアターは、ある程度で時間を区切って1時間に1回15分の上映をするといったような運営の方法も考えていますので、どうしてもその上映を待てない方やいろんな方が見られるように、スクリーンでかきくらべの見どころを見ることができるシアターを設けています。もちろん先ほどおっしゃられた他の祭りの紹介も県外から来られた方も親しみや興味が持てる部分だと思いますし、比較で新居浜の太鼓台がより際立つものだと思いますので、映像は残しつつそういうスペースを設けていきたいと考えていきます。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>補足説明ですが、資料の2ページのご指摘がございましたスクリーンそれから太鼓台自慢のディスプレイですが動画はもちろんですがパソコンからの配信も考えていまして、動くグラフィックなどの静止画を何枚もフォトフレームのように切り替えていくような</p>

	<p>使い方もできるかと思います。動画だけにこだわっていくのではなく様々な情報を検索していった多くの使い方ができるようにと考えています。</p>
委員	<p>太鼓台シアターは 360 度映すのですか。パノラマシアターみたいな感じですか。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>はい。360度の全周のシアターを8面で構成する計画です。</p>
委員	<p>それは、立って見るのか座ったりして見るのかどのように見るのですか。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>立った状態で自由に見ていただくように考えています。</p>
委員	<p>パリの映画で題名は忘れましたが、ソファがあって今回と同じような360度のシアターがあって寝転がって見られるようになっていました。立って見るより椅子でもあったら面白いと思いました。立ってだと窮屈なように感じました。どれくらいの広さにもよりますが。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>広さは大体9m50なので10m近い中で約40人が入れるものになっています。</p>
委員	<p>もちろん立っている人もいると思いますが、座ったり寝転がったりできるようにする予定はありますか。</p>

<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>検討してみます。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>元々のコンセプトが実際のお祭りのような臨場感を味わっていただきたいということで、いろいろな方向から音が攻めてくるといったものを考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>受け止め方の問題で、立って見るのか工夫をして寝転がって見る余裕があるのかという意見です。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>学校 1 クラス最大 40 名が 1 回で入れるということを想定していましたので、シュミレーションしながらどういった方法が良いのか検討していきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>太鼓台シアターは今の説明で申しあげましたように、元々の主目的は一宮神社の真ん中で祭りのときに太鼓台の音が攻めてくるような雰囲気や臨場感を味わってもらいたいというのが発想の原点なので、それが最低限できるシアターにしようと考えています。今ご意見のあった広がりはありませんでしたので、今後の取り組みの中で新たなコンテンツを作っていく中で、例えば 40 人は無理でも子供さんたちが寝転がって見たら面白い映像がでてくると思っていますのでご一緒にお考えいただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。 他にございませんか。今トータルメディアさんは基本設計案や実施設計に取り組んでいる最中ですのでなるべく多くのご意見をいただいた方が良くと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>全体の基本的な大きな部分は分かりましたが、面白さというか空間的なセンスが大事だと思います。</p> <p>先ほどのお話で駅前にモニュメントを作るというお話がありましたが、新居浜は銅の彫刻や石のポケット広場のようなものを文化施設の周りに集中的に配置したら良いと思います。時計1つでも門でも花壇でも案内板でも1つ1つ何か新居浜らしさの工夫があると良いと思います。</p> <p>もう1つは、広場に子供むけに芸術的な環境を作るということで、アートのモニュメントやちょっとした飾りがあったり、花壇でも面白い工夫があったら遠足に行くようになります。駐車場でも少し違ったものがあればご飯を食べる場所になったり、道路でもそこに至るまでの部分で機能だけではなく遊びやゆとりのものを作るとか予算の問題もあると思いますが、こういうふうに機能ではなく雰囲気の部分でいろいろな力とアイデアとお金を入れていけば良いような気がします。</p>
<p>委員</p>	<p>日本お手玉の会では今自分たちで展示する場所がないので、あるところに預かってもらって陳列ケースに入れて飾っているのですが、そういったものを展示させていただけるとしたら、にはまマンダラのアート展示の部分になるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アート展示や現在案のこどもライブラリー・フリーライブラリーといった中で、運営計画のお手玉の捉え方が常時不変ということではなく、その時々のお手玉の見せ方でそれにあった場所できると思います。また、来館者に飽きさせない工夫の展示替えといったこともあると思います。また、先ほどお話しましたが運営の部分に関してはお力をお借りしないといけないと思いますのでその際にご意見をいただければと思います</p>
<p>委員長</p>	<p>時間も迫っていますので、ご意見は後ほど出していただいて、まだトータルメディアさんのご説明が残っていますので続けてご説明していただければと思います。</p>

<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>《資料説明》</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>アート工房についての展示・配置のご説明でございました。ある意味ここも非常に重要なスペースで、作るという機能がある場所ですのでご説明を聞いてお気づきの点があればお出しいただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>アートステーションは機材を収納する場所とおっしゃっていたのですが、この機材というのは工房で使う機材ですか。収納と作業スペースに距離がありますが何を収納しますか。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>作業スペースは専門的な場所になるので専門的な機材を置いて、アートステーションはどちらかというとワークショップ等をするときに細かい道具や一気にまとめてボックスに入れたものが収納されているという形で、アートステーションには軽いワゴンレベルの移動できるものを考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>建築のスペースの関係でこの場所になったのかもしれませんが、作業スペースと近い方がまとまるように感じました。</p>
<p>事務局</p>	<p>使い勝手からいうと近い方がいいのですが、管理側から言いますと管理したいという思いもありますし、アートステーションの考え方といたしましては、先ほど申し上げましたけれども、例えば子供さんが来て切り絵をする場合、のりやハサミをどこかに置いておく必要がありますので、そういうものをここに集約したいという位置付けと作ったものをコピーしたりファックスで送ったりというような機能をここに持たそうと思いますが、機械ものがありますので受付から目が届く場所にではないと不便というところで、位置的にこの場所に落ち着いて建築的にもこの場所になりました。ですか</p>

	<p>ら、実際の使い勝手にしては先ほどご説明にもありましたワゴンで持ち出して実際使う場所に設置する形になると思います。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>この創作スペースがありますがガラス張りで囲われた空間があって、中の活動が見えるような計画をしていますが、この場所はこの場所で作品収納棚と書いておりますが収納庫としても使えますので例えばのり・ハサミ・カッターよりドライバーや電動ドリルのような簡単なものも収納できるようになっています。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれのところにそれぞれの必要なものが収納できるということですね。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>はい。掲載用の備品ストックという考え方です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>限られた予算等があると思いますが、やる以上は良いものにしていただきたい。機能優先ではなくて、大きなコンセプトの中にユーモアやくだらなさ、アホらしさのようなものがあればいいと思います。</p>
<p>トータルメディア 開発研究所</p>	<p>今日の資料の中ではお示ししておりませんが、これ以外に全体を通じまして建物全体のサイン計画としまして、平面のものだけではなく先ほどお話をいただいたような立体的のものであったり、モニュメントなどの地域の素材を活かしていく等の展開は大いにやっていきたいと思っています。</p>

委員	<p>大きくなりすぎると非難されると思いますのでどこまでやって良いのかということはあると思いますが、センスのある方なら分かると思います。長く憩いの場として盛り上げていこうとしたらそういったものもあえて冒険的なこともしないといけないと思います。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>この施設の一つの売りといたしまして、いろんな活動をしている様子そのものを見ていただく、にぎわっている様子、あるいは喧々譁々やっている様子を意図している部分もありまして、展示設計者としては無責任な言い方になると思いますが、この活動の中から施設の中身が次々に作り続けられていくという部分も期待したいところです。</p>
委員	<p>右側の手洗い場とありますがこの縦のスペースは何ですか。単なる通路ですか。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>屋外テラスになっていて、屋根が付いていて外での活動を考えたときに使えるものです。</p>
委員	<p>先ほど説明にあった工房スペースにはどうやって入るのですか。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p>建築の図面でいうと3ページになりますが、見ていただくとアート工房があります。そこから屋外に面した部分はほぼガラスですが、ここから屋外に出られるドアがあって、そこから1度外に出ていただいて工作室に行ってくださいようになっています。</p>
委員	<p>工作室には屋外テラスからではないといけないということですか。通路には屋根はあるのか。</p>
トータルメディア 開発研究所	<p><資料を使って説明></p>

委員	カフェの広さはどのくらいの広さになりますか。
事務局	<p>カフェの広さですが、資料に交流ロビーと書かれているところ全体で飲んでいただくということを考えています。</p> <p>当然カウンターも考えています。美術館など館内で飲食ができない場所もありますが、それ以外でしたら交流ロビーで飲んでいただいても良いですし、外の屋外ステージの客席でたむろして飲んでいただいても良いしということを考えています。交流ロビーの中での座席など確定した空間については検討段階で特に決めていないところがございます。</p>
委員	交流ロビーのところにもそういった場所があるということですね。
事務局	<p>そのように考えています。例えばこの空間をイベントで使う際には座席等は下げて広い空間として使えて運営できるように考えています。建築的にも交流ロビーの部分もなるべく柱を減らしたいということで鉄骨を使って上のスラブにボイドスラブという特殊な工法を使ってなるべく大きな柱がでてこないように建築的にも考えていただいております。</p>
委員	メディアラボやメディアテーブルはどうなりますか。
トータルメディア 開発研究所	<p>どちらかというとユーティリティスペース等は皆さんが協力しながら何かをするような広いテーブルなので、パーソナルなスペースとしてパソコンで作業する等のスペースでのメディアというのを考えています。</p>

委員	<p>最近パソコンよりもタブレット等がこれから主流になっていくのではないかと考えているのですが、例えば個人が持ってきたもので館内の今どこで何をしているかだったり、ワークショップでしているものを館内で流したりといったことにも利用できるのではないかと思います。パソコンを設置するところはいっぱいあるのですが個人でタブレットやスマートフォンも持っている時代がくると思うので、そういったものも今後考えていった方が良いのではないかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>12時までを予定していたと思いますがいろんなご要望がございまして、時間も迫っていますので個人的に聞きたい事があれば事務局側にご連絡すればお答えいただけるのですか。</p>
事務局	<p>はい。そのつもりですし逆に<現在案>を見ていただいて委員の皆様がご自身で活動されている分野でこういう使い方したいということを積極的にご申し出いただいでできる方向で取り組んでいきたいと考えています。今回工事を発注したのが全て最終決定ではございませんので、開館までは良い方向に向けて少しでも良くなるように努力してまいりますので、ぜひお気づきの点がございましたらお申し出をいただければと思います。</p>
委員長	<p>最後になりますが開館までのスケジュールについてご説明お願いします</p>
トータルメディア 開発研究所	<p style="text-align: center;">《 説 明 》</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>施設の整備からソフトの準備等含めて大まかに26年度のスケジュールを想定していることとございました。何かお気づきの点はありませんか。</p>

	<p>実際の作業としてはいろいろなものがあると思いますがけれども現在ではこのようなスケジュールであるということを委員会ではご了承いただきたいと思います。</p>
全委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>それでは、会次第といたしましては3まで終わりましたがその他としては何かございますか。</p>
全委員	<p>ありません。</p>
委員長	<p>それでは第4回建設委員会は終わらせていただきたいと思います。 ります。 お忙しい中ありがとうございました。</p>